

品質性能試験報告書

試験名称	枠組壁工法用接合金物を使用した接合部の性能試験						
依頼者	株式会社 栗山百造						
試験項目	引張						
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：2×4用クリホールダウンⅢ 2×4KHDⅢ-25・30 用途：柱脚の仕口に使用する金物（アンカー型） 寸法：40×48×195mm</p> <p>2. 接合具 木ねじ：クリスパイラルビス7×65mm, 8本使用 アンカーボルト：六角ボルトM16×260mm たて枠取付用：太め鉄丸くぎCN75（JIS A 5508）, 6本使用</p> <p>3. 枠組 たて枠：枠組壁工法構造用製材, JAS 甲種枠組材2級, 樹種；S-P-F, 寸法；38×89mm, 2本</p> <p>4. 試験体数7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）</p>						
試験方法	「2007年 枠組壁工法建築物構造計算指針」（発行：社団法人日本ツーバイフォー建築協会）の第V編「材料及び接合部の許容応力度等を定める試験・評価方法とその解説」の1.2.3「接合部の基準許容応力及び基準終局耐力並びに基準剛性（繰返し加力接合部試験によるもの）」に準じて行った。その詳細を図-4に示す。						
試験結果	試験体		試験許容応力時		試験終局耐力		試験剛性
	記号	番号	(Py)kN	(δy)mm	(Pu)kN	(δu)mm	(K)kN/cm
	24KHD3 -2530	0	41.7	5.1	63.4	21.5	81.8
		1	40.6	4.7	59.9	22.5	86.4
		2	34.7	3.8	53.5	12.9	91.3
		3	45.0	5.4	66.7	25.4	83.3
		4	37.3	4.2	55.0	21.2	88.8
		5	39.1	5.1	58.8	19.7	76.7
		6	44.9	4.9	67.4	26.7	91.6
		平均	40.3	4.7	60.2	21.4	86.4
	標準偏差 s	4.13	0.59	5.80	4.91	5.67	
	5%下限値	30.7		46.7		—	
	基準値	基準許容応力 20.5	—	基準終局耐力 46.7	—	基準剛性 86.4	
<p>(注) 基準許容応力は試験許容応力の5%下限値に2/3を乗じた値であり、基準終局耐力は試験終局耐力の5%下限値である。また、基準剛性は試験剛性の平均値である。なお、5%下限値は次式より求めた。 5%下限値 $TL = \chi - k \cdot s$ ここに、χ：試験耐力の平均値、s：標準偏差、k：2.336 (n=6) 参照：表-1 (2/3Pmax時, 最大荷重時及び破壊状況), 図-5 (荷重-変位包絡線の比較) 図-6 (荷重-変位曲線, 包絡線及び完全弾塑性モデル), 写真-1～写真-6 (破壊状況)</p>							
試験期間	平成23年 3月10日 及び 11日						
担当者	構造グループ 統括リーダー 高 橋 仁 試験責任者 守 屋 嘉 晃 試験実施者 宮 下 雄 磨						
試験場所	中央試験所						